



	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
10月	826	467	480	10	6	1,789	810	61	162	235	57	612	3,726
累計	5,903	3,297	3,475	490	30	13,195	5,337	394	1,159	1,649	549	3,599	25,882

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

🔍 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

- 337.8 森永卓郎『物価の文化史事典』の続編にあたる書籍は発刊されているか。この本の発刊が 2008 年（平成 20 年）のため、それ以降の平成後半から令和あたりまでの物価をまとめた本があれば知りたい。

『物価の文化史事典 明治/大正/昭和/平成』（森永卓郎／監修 展望社 2008）は、明治から平成までの物価の推移等について書かれたものだが、続編は、現時点では刊行されていない。また、平成後半から令和の物価をまとめた本の出版も確認できなかった。総務省統計局のウェブサイトには小売物価統計調査の結果が公開されており、動向編調査結果 (<https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/3.html> 11/30 確認) には、過去の時系列表として、県庁所在地及び人口 15 万人以上の市の品目ごとの年平均価格を表した「10 年報：平成 3 年（1991 年）～平成 12 年（2000 年）」や、主要品目の東京都区部小売価格を一覧にした「主要品目の東京都区部小売価格：昭和 25 年（1950 年）～平成 22 年（2010 年）」といった時系列表があるが、それ以降の年代については公開されていないため、毎年の統計を見ていく必要がある。他に物価の変動が分かるものとしては、総務省統計局の消費者物価指数 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/> 11/30 確認) や、日本銀行調査統計局の物価関連統計 (<https://www.boj.or.jp/statistics/pi/index.htm> 11/30 確認) がそれぞれウェブサイトで開催されている。

- 493.7 ①モノ（レシートなどの不要なもの）に執着して捨てられない、捨てるという行為に恐怖を感じるという症状が見られる精神疾患について知りたい。
②精神的な不調を抱えていたり、精神疾患を持つ人が、カウンセラーや精神科などの機関に気軽に相談しづらいという問題を取り上げている本について知りたい。

①『有斐閣現代心理学辞典』（子安増生／〔ほか〕監修 有斐閣 2021）p.501 に「ためこみ症」の項あり。「強迫症および関連症群に含まれる一疾患。物（紙類や洋服など）を過剰収集し、実際の価値とは関係なく価値や愛着を感じるため、または、重要な情報の損失を恐れるなどの理由で捨てられず（中略）手放すことやそれを考えるだけでも苦痛を感じるという症状。」と書かれている他、有病率は 2～6%、発症の多い年代は 11 歳～15 歳、認知行動療法や薬物療法が用いられるが、一般的に治療は困難との記述あり。

『強迫性障害を乗り越える！最新治療と正しい知識』（上島国利／著 日東書院本社 2011）p.36-39 には「強迫的ため込み」を「物を集めすぎる」「物が整理できない」「物が捨てられない」の 3 つの基準がすべてあてはまる場合を指すとし、ため込むことが精神的な苦痛や不安を伴い、日常生活に著しく支障をきたすことが特徴で、そうでない場合は強迫的ため込みとはいわないと記述されている。

また『強迫症/強迫性障害<OCD> 考え・行動のくり返しから抜け出す』（原井宏明／〔ほか〕

監修 講談社 2023) には p.28 にためこみ症について、たんなるクセと症状の線引きはあいまいであるため、治療するかどうかは困りぐあいで判断するとの記述があり、p.97 にはいわゆる「ごみ部屋」がためこみ症によるものであるとしたら、治療の余地があるとして、家族などが協力者となって捨てる作業をくり返すことが治療になるとの記述がある。

②『夜しか開かない精神科診療所』(片上徹也／著 河出書房新社 2019) p.11、43、45 に精神科に行きたくても行けないという人も少なくないとして、病院を開業するにあたり、「目立たない場所に」「通える時間に開いている」「内科・皮膚科を併設」などの工夫をしたとの記述あり。

『気楽に行こう、精神科! 精神科のことがよく分かる本』(中村敬／著 三宅永／著 マガジンハウス 2000) は書名の通り、受診をためらう方に向けての本となっており、p.12「精神科にいきたいのですが、そのことが会社にばれたりしませんか」や、p.34「医師とはいえ、こころの本当の内側を語ることに抵抗感があるのですが」の項がある。p.22 からは「自分は病気ではないから、精神科など行く必要はない」という例について「精神分裂病の可能性がある場合」と「思春期特有の問題に悩んでいるなど精神病というほどの問題ではない場合」の2つの場合に分け、前者の場合には本人の意思に反してでも治療を開始したほうがよいこともあるが、後者の場合は家族療法あるいは家族カウンセリングとして家族だけが精神科の外来に通院することで改善することがあるなどとしている。

『病気じゃないからほっといて』(ザビア・アマダー／著 星和書店 2016) では、臨床心理士による、「私は病気ではない」と言う人に治療を受け入れてもらうための新たなコミュニケーション技法 L E A P (話を傾聴 (Listen) し、共感 (Empathize) し、一致 (Agree)、協力関係 (Partner) を築くこと) について記述されており、p.15「精神疾患を抱えた人々の多くは、自分の病気を否認し、それゆえ治療を拒否する。」という問題の解決に対する研究書となっている。

他にもこんな質問ありました (クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
I/B1	市川市の地層の変遷について知りたい⇒『市川市史 第1巻』(市川市史編纂委員会／編集 市川市 1971) 第1章「地形の発達」に、主に東葛台地と行徳低地の地層に関する詳細な解説があったため紹介。	
289.1	「私の履歴書」の記事を探している。誰のインタビューだったか思い出せないが、奥さんの話と子どもが転校を嫌がって犬を飼ってあげたエピソードがあった気がする。7月か8月にみた⇒データベース日経テレコンのキーワード検索で「私の履歴書」を検索。7～8月の紙面を確認してもらったところ、経済人の岩沙弘道氏であることが分かる。岩沙氏の「私の履歴書」が掲載されていた期間の日経新聞を確認したところ、2024年7月31日号朝刊44面に利用者が探していたエピソードが掲載されていた。	
556.9	旧日本軍の軍艦が、退役後にどのような方法で廃棄や活用をされているか、参考になる資料を探している。⇒『第二次大戦残存艦船の戦後 生き残った150隻の行方』(大内建二／著 潮書房光人新社 2021)には、旧日本軍の軍艦や陸軍上陸船の戦後の活用や解体について記載されている。	
627	チューリップに「パロット咲き」という咲き方がある。そのパロットの語源は何か知りたい⇒『花屋さんに並ぶ植物がよくわかる「花」の便利帖』(深野俊幸／監修 大田花き／監修 KADOKAWA 2020) p.53 チューリップの章の「パロット咲き」に「花びらが切れ込んだり、カールしたり。オウム (parrot) の羽根のような形から、この名前と呼ばれます。よく咲かせると、ダイナミックな動きが楽しめます。」と記載あり。	
769	バレエの初心者向けにポジションの名前が分かるものはないか⇒『基礎からていねいにおさらい大人のバレエステップアップのポイント50』(厚木彩／監修 メイツユニバーサルコンテンツ 2020)に基本的なポジションやステップの名前が記載されていたため提供。	
918.6	佐藤春夫が訳した南宋の詩人、陸游(りくゆう)作『雜興』(「草鋤けど春は萌え萌ゆ」から始まる漢詩)の全文と訳全文、文の解説が見たい⇒『佐藤春夫全集 第1巻』(講談社 1966)p.333に全文と書き下し文が記載されていた。また『日本の詩歌 16 佐藤春夫』(中央公論社 1979)p.313-314には全文と書き下し文のほか解説が記載されていたため提供。	